

令和7年3月16日(日)

新方川下流域の地形と 河川跡について

1 / 3

NPO法人越谷市郷土研究会

瀧田 雅之

令和7年3月20日(木)

ホームページ掲載用
校閲・監修

NPO法人越谷市郷土研究会

秦野 秀明

※**厳守**願います

掲載している**写真**を
引用・転載される際は
必ず「**出典**」を明記願います

例1) 撮影者：瀧田 雅之

例2) 撮影者：秦野 秀明

瀧田 雅之プロフィール

- 1967年6月6日生まれ
 - 越谷市立増林小学校卒業
 - 越谷市立東中学校卒業
 - 郁文館高等学校卒業
 - 東洋大学法学部法律学科卒業
-
- 職業：地元の郵便局
 - NPO法人越谷市郷土研究会所属
 - 越谷生まれの越谷育ち
勤務先も越谷
新方川の傍で57年暮らし
区画整理前の花田・増林地区
を自らの目で見てきた



①新方川とは？ 1 / 2

- 春日部市増田新田とさいたま市岩槻区大戸の境界が起点
- 越谷市中島にて「中川」に合流
- 総延長10.9km
- 利根川水系(一級水系)の「**一級河川**」

- 近世前期から存在すると推定される**排水路**である
 - ①「**千間堀**」(用悪水(排水)路を母体として)
 - ②「**新方領堀**」
(**大正5年**「新方領耕地整理事業」の竣工後)
 - ③一級河川「**新方川**」
(**昭和40年**「新河川法」の施行に伴い)
として変遷
- 現在でも流域の地元では「千間堀」の名前で親しまれている

①新方川とは？ 2 / 2

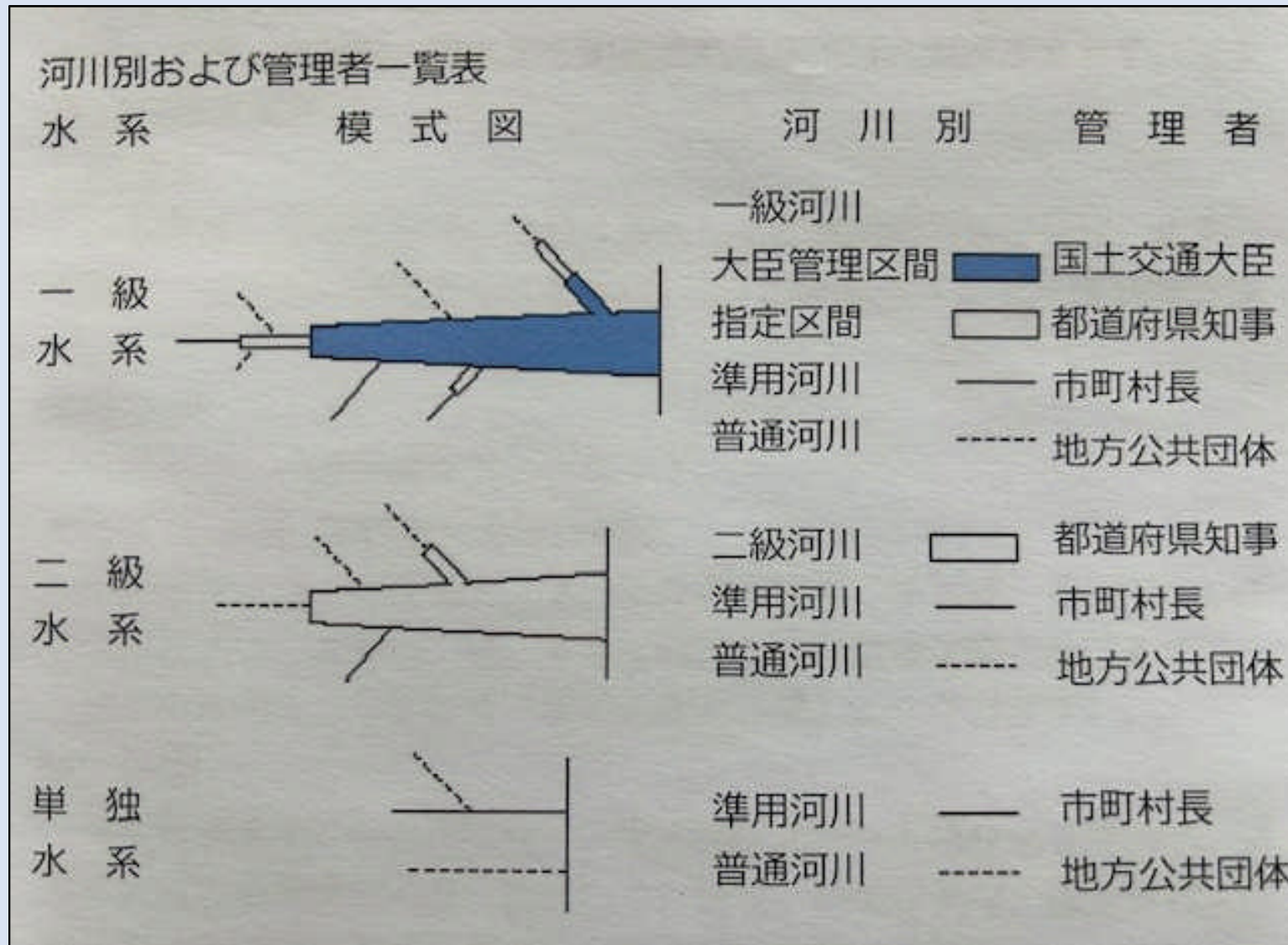
- ・「葛西用水(逆川)」を伏せ越した旧・大吉村と旧・増林村の境界より
 - ①上流部を「上千間堀」
 - ②下流部を「下千間堀」と呼ばれていた

出典：秦野 秀明(2020)

「越谷市増林地区における流路変遷」

『古志賀谷』第19号 pp.16-27

河川別および管理者一覧表 1 / 1



出典：国土交通省ホームページより引用

https://www.mlit.go.jp/river/pamphlet_jirei/kasen/jiten/yougo/02.htm

河川管理上の区別 1 / 4

- **河川管理者**

河川は公共に利用されるものであって
その管理は
洪水や高潮などによる災害の発生を防止し
公共の安全を保持するよう適正に行われなければなりません
この管理について権限をもち
その義務を負う者が**河川管理者**です

- 具体的には

一級河川については**国土交通大臣**
(河川法第9条第1項)

二級河川については**都道府県知事**
(同法第10条)

準用河川については**市町村長**
(同法第100条第1項による河川法の規定の**準用**)
と**河川法**に定められています

出典：国土交通省ホームページより引用

https://www.mlit.go.jp/river/pamphlet_jirei/kasen/jiten/yougo/02.htm

河川管理上の区別2 / 4

- **一級水系**

国土保全上または国民経済上特に重要な水系は
国土交通大臣が直接管理します
全国で一級水系に指定された水系は
109水系です(平成10年度末現在)

- **二級水系**

一級水系**以外**の水系は
二級水系として**都道府県知事**が管理します
全国で二級水系に指定された水系は
2,713水系です(平成10年度末現在)

- **単独水系**

一級水系、二級水系**以外**の水系です

出典：国土交通省ホームページより引用

https://www.mlit.go.jp/river/pamphlet_jirei/kasen/jiten/yougo/02.htm

河川管理上の区別3 / 4

- **大臣管理区間(指定区間外区間)**
一級水系については**国土交通大臣**が直接管理しますが
その中の主要な河川を2つに区分し
特に重要な幹川を**大臣管理区間**と呼びます
(次の指定区間と対比して「**指定区間外区間**」とも呼びます)
- **指定区間**
大臣管理区間**以外**の河川は
一定規模以上の水利権などを除いて
通常のを管理を**都道府県知事**に**委任**しています
この区間は
国土交通大臣が指定することによって決まるので
指定区間と呼びます

出典：国土交通省ホームページより引用

https://www.mlit.go.jp/river/pamphlet_jirei/kasen/jiten/yougo/02.htm

河川管理上の区別4 / 4

- **一級河川**

一級水系に係わる河川で、**国土交通大臣**が指定した河川です
全国で**13,935河川**が一級河川に指定されています(平成10年度末現在)

- **二級河川**

二級水系に係わる河川で、**都道府県知事**が指定した河川です
全国で**7,029河川**が二級河川に指定されています(平成10年度末現在)
ちなみに、一級水系の中に二級河川は**あり得ません**

- **準用河川**

河川法の規定の一部を**準用**し、市町村長が管理する河川です
一級水系、二級水系、単独水系に**かかわらず**設定されます

- **普通河川**

一級河川、二級河川、準用河川**以外**の小河川を普通河川と呼びます
実際の管理は、**市町村**などが行っています

出典：国土交通省ホームページより引用

https://www.mlit.go.jp/river/pamphlet_jirei/kasen/jiten/yougo/02.htm

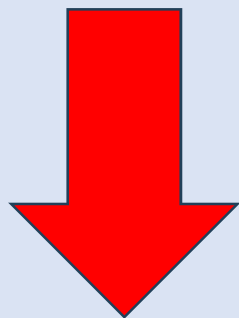


上流から下流に**向かって右側が右岸、左側が左岸**と決められている

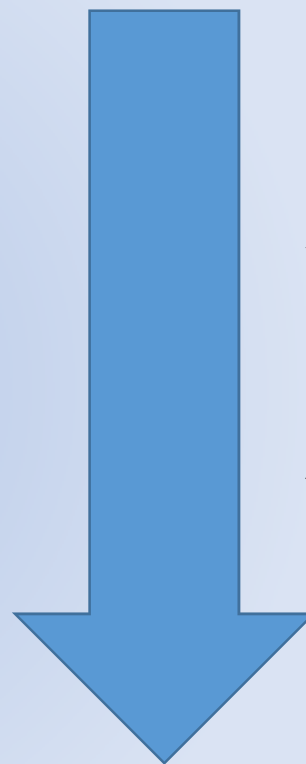
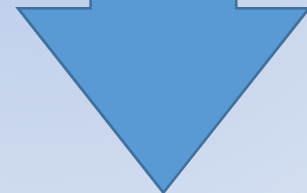
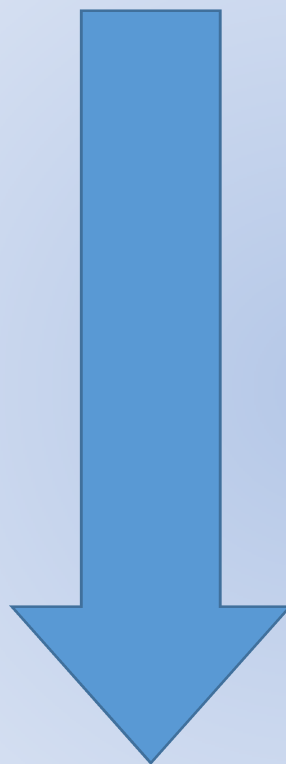
出典：国土交通省関東地方整備局荒川上流河川事務所のHPより引用
<https://www.ktr.mlit.go.jp/arajo/arajo00579.html>

上流

視線



右岸



左岸

下流

②新方川の橋 1 / 3

「宮野(みやの)橋」
と
「定使野(じょうつかいの)橋」

出典：加藤 幸一(2009)
「江戸時代の増林村の千間堀に
架かる橋」

②新方川の橋 2 / 3

②-1 「宮野(みやの)橋」

- ・「宮野橋」は古くは「定使野橋」と呼ばれていた
- ・このあたり一帯はかつて増林村定使野と呼ばれる集落でその集落の名前を取る
- ・現在の野田街道に架かる「定使野橋」は後年になって新たに架設された橋
- ・昭和5年に土橋だった橋をコンクリート橋に架け替えた時に「宮野橋」となる
- ・左岸の地名「宮田」と右岸の地名「定使野」を結ぶ橋として両方の地名から一字ずつ取る(他の説もある)

出典：加藤 幸一(2009)

「江戸時代の増林村の千間堀に架かる橋」

②新方川の橋 3 / 3

②-2 「定使野(じょうつかいの)橋」

- ・「宮野橋」の古い呼び名である
「定使野橋」とは全く別の橋
- ・昭和57年の「河川激甚災害対策特別緊急事業」と同時に行われた花田土地区画整理事業により「新方川」と「葛西用水(逆川)」で潜る上下を逆転させた際に初めて架けられた橋
- ・それ以前の「新方川」は「葛西用水(逆川)」の下を「樋管」により伏せ越して下流に向かっており今のような橋は無く地元でも「橋」として認識していなかった

出典：加藤 幸一(2009)

「江戸時代の増林村の千間堀に架かる橋」



上 戦前 中下 昭和50年代



釣りを楽しむ人(昭和10年頃)



昭和10年頃の定使野橋



宮野橋 現在



定使野橋 現在



・当時の「新方領堀」で釣りをする人 昭和10年頃



- 「新方領堀改修記念碑」 西南西より望む 撮者：瀧田 雅之



- 「新方領堀改修記念碑」 南西より望む 撮景者：瀧田 雅之

新方領堀改修記念碑

この記念碑は昭和2年から昭和8年にかけて実施された新方領堀（新方川）の改修工事の完成を記念して建てられたものです。

表には当時の農林大臣、後藤文夫氏による「新方領堀改修記念碑」の文字が刻まれており、裏面には、工事概要及び工事に係った方々のお名前が刻まれています。

埼玉県 新方領用悪水路土地改良区

管理者 越谷市 公園緑地課

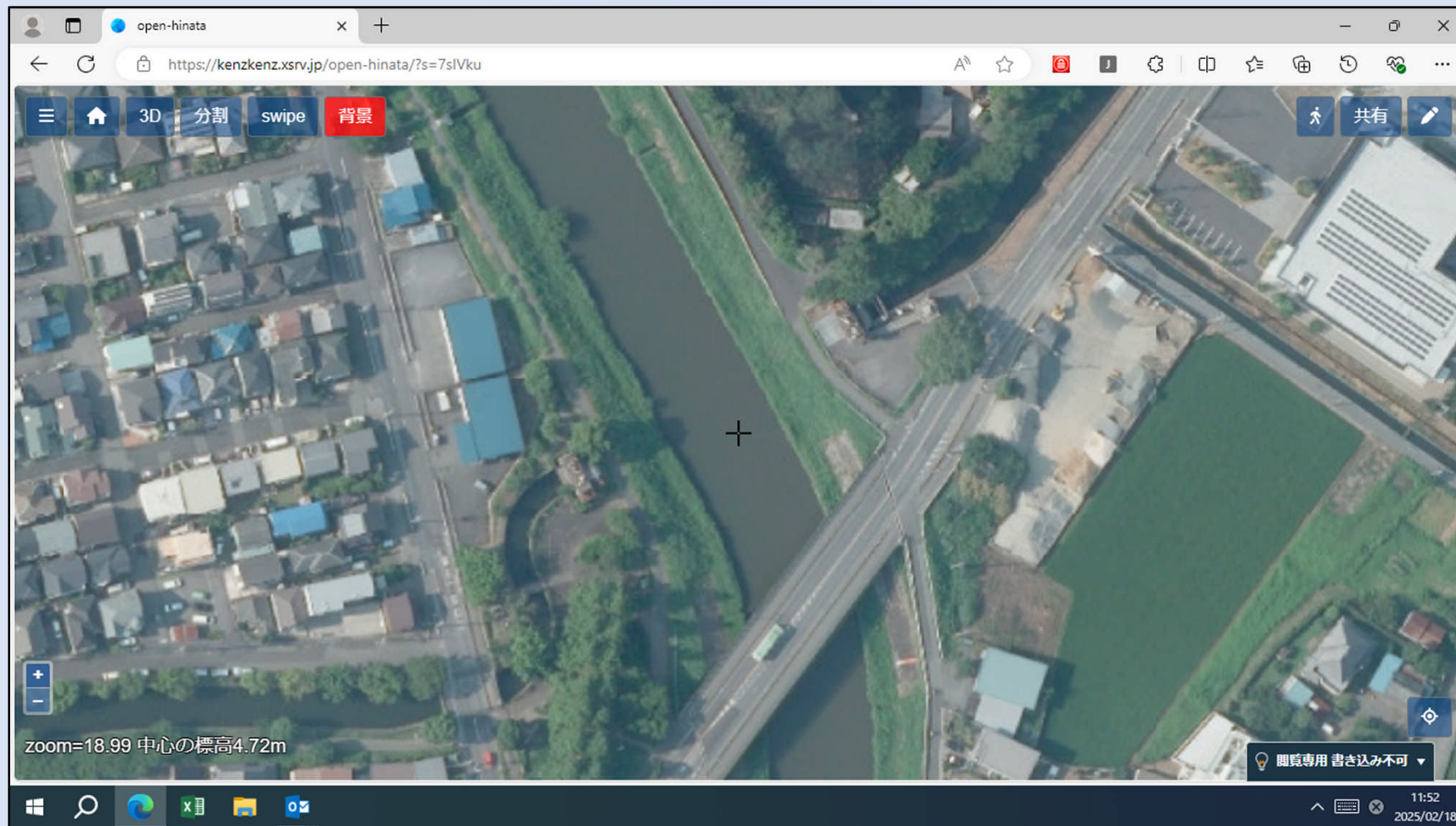
TEL048-964-2111



・当時の「新方領堀」大吉樋管の出口周辺(増林側) 昭和10年頃



・「新方川」大吉樋管の出口近辺(左岸側(増林側)) 昭和50年代



・「葛西用水」大吉伏越
出典：open-hinata 「全国最新写真」より引用
<https://kenzkenz.xsrv.jp/open-hinata>



・「葛西用水」大吉伏越(下流部)
南西より望む 撮者：瀧田雅之



・「葛西用水」大吉伏越(上流部)を望む
「新方川」右岸より望む 西南西より望む 撮者：瀧田 雅之

③新方川の流路の変遷

1 / 6

下千間堀

旧・大吉村と旧・増林村境界の
葛西用水(逆川)との「伏越」地点から
下流の落とし先(流末)まで

出典：秦野 秀明(2020)
「越谷市増林地区における
「新方川」の流路変遷」
『古志賀谷』第19号 pp.16-27

③新方川の流路の変遷

2 / 6

千間堀(下千間堀)の流路変遷 1/5

- ・元禄12年(1699)以前

旧・大吉村内の葛西用水(逆川)との接続点に横壱間の「**伏越埋通**」が弐(に)ヶ所設置されていた千間堀の流末は

後に「**埋堀**」と云われる流路を経て**大落古利根川**に落とされていた(**推定**)

出典：秦野 秀明(2020)

「越谷市増林地区における「新方川」の流路変遷」

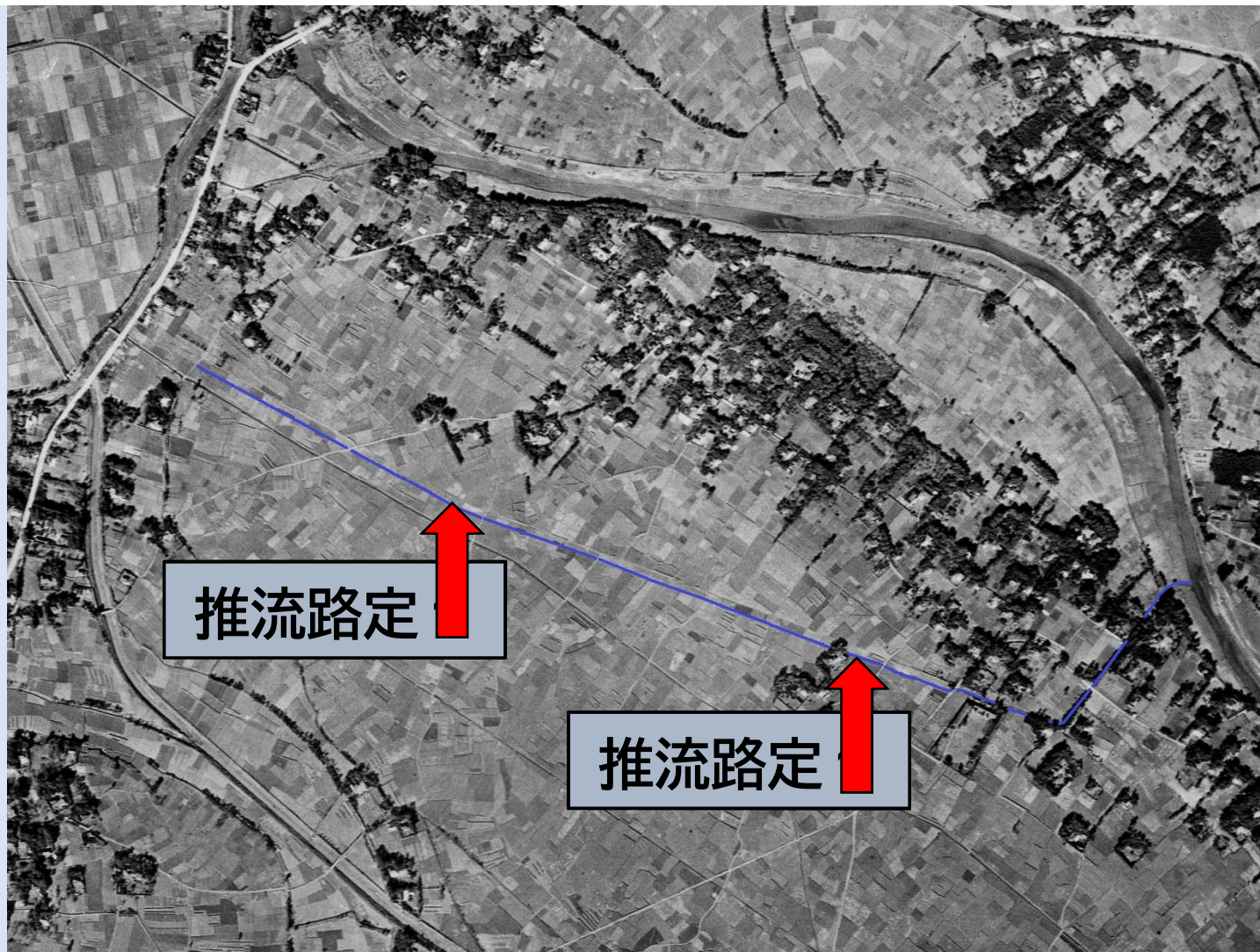
『古志賀谷』第19号 pp.16-27



↑ 元禄14年(1701)5月14日**以前**
「**(大落)古利根川**」に落とされていた
出典：秦野 秀明(2020)
「越谷市増林地区における「新方川」の流路変遷」
『古志賀谷』第19号 pp.16-27



↑ 出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」
整理番号 USA・コース番号 R393・写真番号 126
撮影年月日 1947/10/23(昭22)
より部分引用



↑ 出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」
整理番号 USA・コース番号 R393・写真番号 126
撮影年月日 1947/10/23(昭22)
より加筆して部分引用

③新方川の流路の変遷

3 / 6

千間堀(下千間堀)の流路変遷 2 / 5

- ・元禄14年(1701)5月14日

旧・大吉村内の式(に)ヶ所の「**伏越埋樋**」を
法四尺五寸、横式(に)間、長二拾(じゅう)二間
に拡張し

千間堀の流末を変更、延長して

旧・花田村内の**花田古川**に落とされた

出典：秦野 秀明(2020)

「越谷市増林地区における「新方川」の流路変遷」

『古志賀谷』第19号 pp.16-27



元禄14年(1701)5月14日以降

「花田古川」に落とされた

出典：秦野 秀明(2020)

「越谷市増林地区における「新方川」の流路変遷」

『古志賀谷』第19号 pp.16-27

③新方川の流路の変遷

4 / 6

千間堀(下千間堀)の流路変遷 3/5

- ・文政十三年(1830)成立
の『新編武蔵風土記稿』の刊行以前

千間堀の流末を延長して

旧・中島村内の**当時の大落古利根川**に落とされた

※これは「従来の説」とは異なる「**新説**」の発表である

出典：秦野 秀明(2020)

「越谷市増林地区における「新方川」の流路変遷」

『古志賀谷』第19号 pp.16-27



当時の「(大落)古利根川」

↑ 文政13年(1830)以前には
当時の「(大落)古利根川」に落とされていた

出典：秦野 秀明(2020)

「越谷市増林地区における「新方川」の流路変遷」
『古志賀谷』第19号 pp.16-27

③新方川の流路の変遷

5 / 6

千間堀(下千間堀)の流路変遷 4/5

- ・大正五年(1916)

旧・大吉村と旧・増林村境界の葛西用水(逆川)との「伏越」地点から
上流部である千間堀(上千間堀)において
「新方領耕地整理事業」による改修が竣工した

出典：秦野 秀明(2020)

「越谷市増林地区における「新方川」の流路変遷」
『古志賀谷』第19号 pp.16-27

③新方川の流路の変遷

6 / 6

千間堀(下千間堀)の流路変遷 5/5

・昭和八年(1933)11月

「十三河川改修事業」による改修が竣工し
大落古利根川の直道化に伴い廃川となった河道を再利用し
千間堀の流末を延長して
旧・中島村内(当時の旧・増林村)の「**中川**」に落とされた
この時の改修を以て、現在の新方川の流路となった

出典：秦野 秀明(2020)

「越谷市増林地区における「新方川」の流路変遷」

『古志賀谷』第19号 pp.16-27



↑ 元禄14年(1701)5月14日**以前**
「**(大落)古利根川**」に落とされていた
出典：秦野 秀明(2020)
「越谷市増林地区における「新方川」の流路変遷」
『古志賀谷』第19号 pp.16-27



出典：越谷市デジタルアーカイブ「増林村略図」



・「増林土地改良竣工記念碑」 撮影者：瀧田 雅之



・増林地区を流れる「埋堀」 北西より望む 撮影者：瀧田 雅之



・「越谷市立増林小学校の裏」の「埋堀(現・普通河川「横井堀」)」

東南東より望む 撮影者：秦野秀明氏

※ 少年野球チームの練習試合においてコーチとして帯同した際に撮影



- ・「越谷市立増林小学校の裏」の「埋堀(現・普通河川「横井堀」)」
西北西より望む 撮影者：秦野秀明氏
- ※ 少年野球チームの練習試合においてコーチとして帯同した際に撮影



- ・増林地区内「ふれあい橋」上流部の「埋堀(現・普通河川「横井堀」)」
「大落古利根川」へ落される 西南西より望む 撮影者：瀧田 雅之



元禄14年(1701)5月14日以降

「花田古川」に落とされた

出典：秦野 秀明(2020)

「越谷市増林地区における「新方川」の流路変遷」

『古志賀谷』第19号 pp.16-27



- 「花田古川」に落とされたと推定される地点「花田第一樋門」付近
北西より望む 撮影者：秦野 秀明氏



- 「花田古川」に落とされたと推定される地点「花田第一樋門」付近
南南東より望む 撮影者：秦野 秀明氏



- 「花田古川」に落とされたと推定される地点「花田第一樋門」付近
南西より望む 撮影者：秦野 秀明氏



- 「花田古川」に落とされたと推定される地点「花田第一樋門」付近
南西より望む 撮影者：秦野 秀明氏



- 「花田古川」に落とされたと推定される地点「花田第一樋門」付近
北東より望む 撮影者：秦野 秀明氏



↑ 当時の「(大落)古利根川」

↑ 文政13年(1830)以前には
当時の「(大落)古利根川」に落とされていた

出典：秦野 秀明(2020)

「越谷市増林地区における「新方川」の流路変遷」
『古志賀谷』第19号 pp.16-27



- 「大落古利根川」に落とされていた地点 撮影者：瀧田 雅之



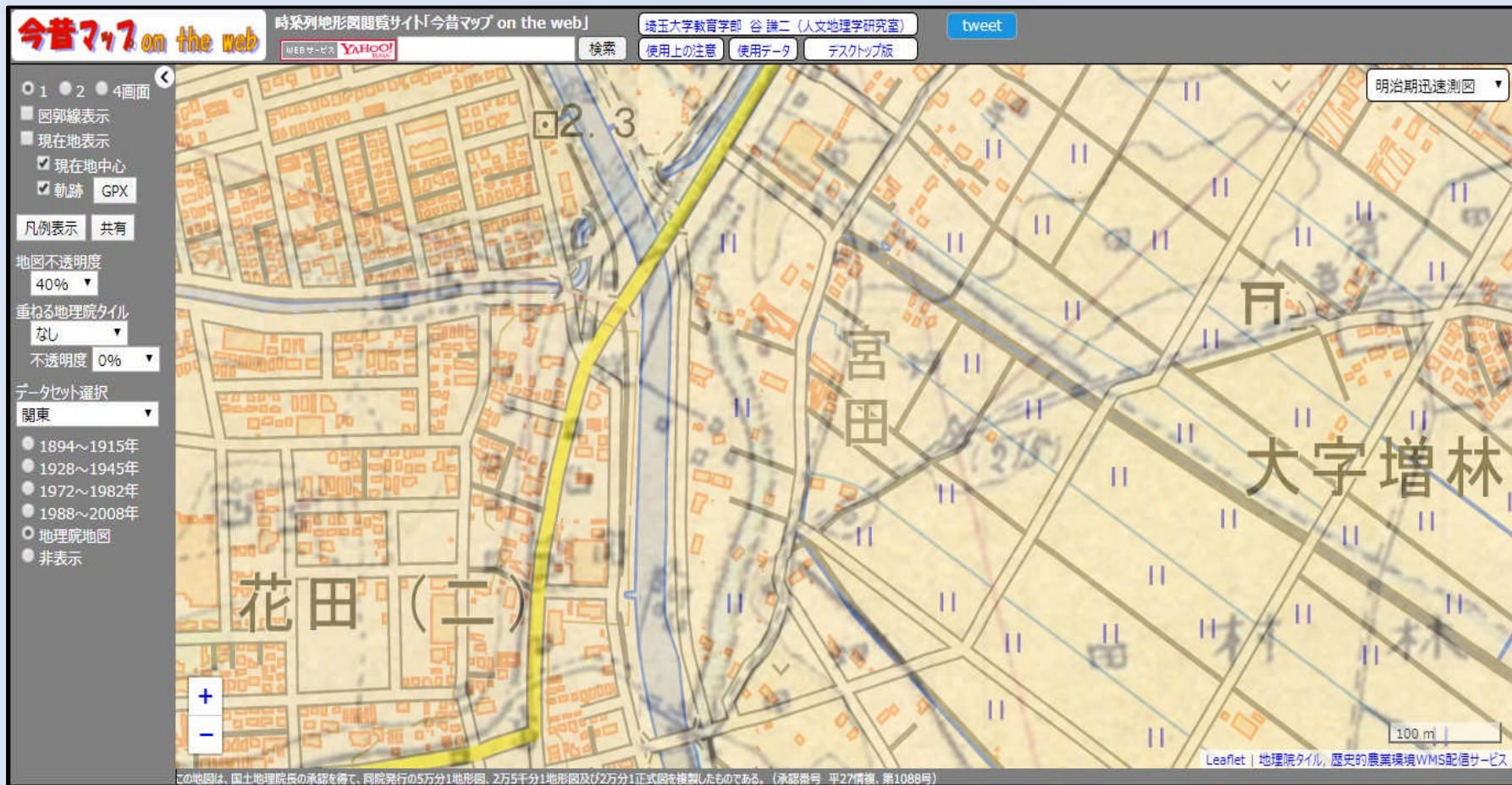
- 「元荒川」に落とされていた地点 撮影者：瀧田 雅之

④新方川の流路の変遷

1 / 1

定使野橋から宮野橋の区間

出典：秦野 秀明(2020)
「越谷市増林地区における
「新方川」の流路変遷」
『古志賀谷』第19号 pp.16-27

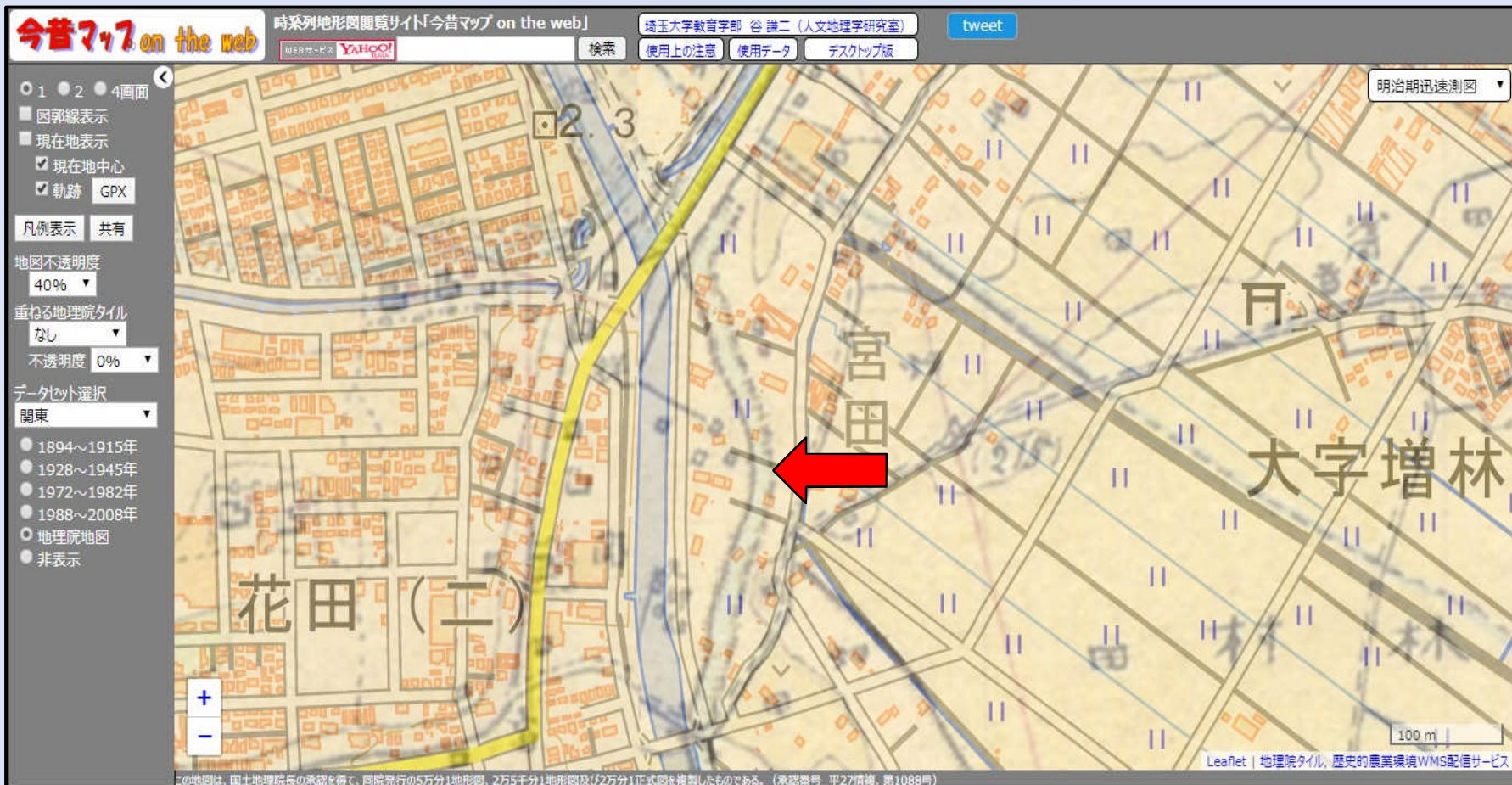


↑ 出典：時系列地形図閲覧サイト「今昔マップ on the web」((C)谷 謙二)

URL <http://ktgis.net/kjmapw/>

出典：秦野 秀明(2020)

「越谷市増林地区における「新方川」の流路変遷」『古志賀谷』 第19号 pp.16-27

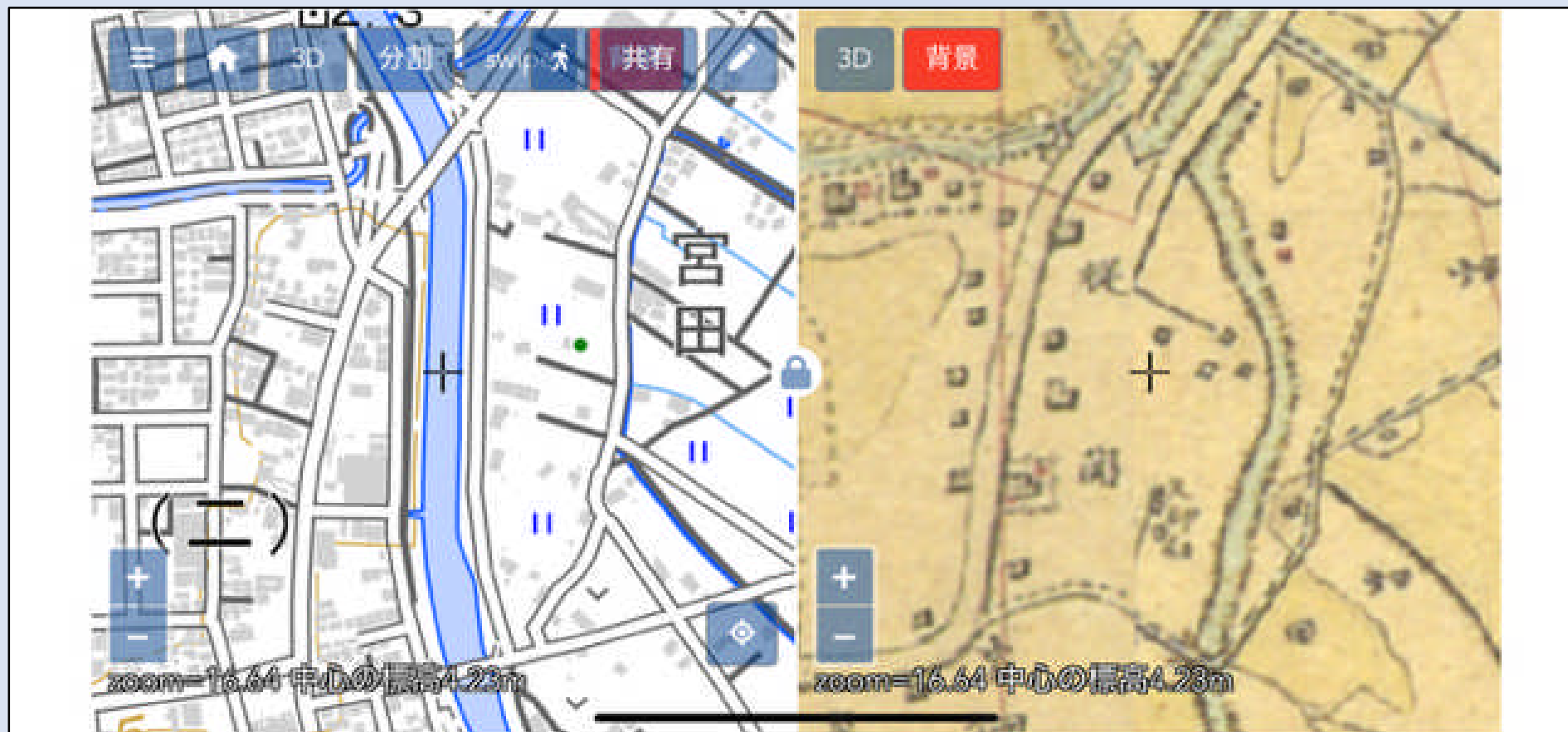


↑ 出典：時系列地形図閲覧サイト「今昔マップ on the web」((C)谷 謙二)

URL <http://ktgis.net/kjmapw/>

出典：秦野 秀明(2020)

「越谷市増林地区における「新方川」の流路変遷」『古志賀谷』 第19号 pp.16-27



出典：open-hinata 「迅速測図」より引用
<https://kenzkenz.xsrv.jp/open-hinata>



出典：open-hinata 「迅速測図」より引用
<https://kenzkenz.xsrv.jp/open-hinata>



・現在の流路よりやや南東方向へ流れていた 撮影者：瀧田 雅之



・かつての流路と推定される地点
写真奥から手前へ向けてを「流路」として推定 撮影者：瀧田 雅之



・かつての流路と推定される地点
奥に見える橋は「**定使野橋**」(野田街道) 撮影者：瀧田 雅之



・かつての流路と推定される地点
写真奥から手前に向けてを「流路」として推定 撮影者：瀧田 雅之



・かつての流路と推定される地点

奥に見える橋は「宮野橋」 写真奥から手前に向けてを「流路」として推定
家(区画)の向きがかつての流路の名残だろうか？ 撮影者：瀧田 雅之



・ かつての流路と推定される地点
家の向き(区画)がかつての流路の名残だろうか？ 撮影者：瀧田 雅之



・ かつての流路と推定される地点
家(区画)の向きがかつての流路の名残だろうか？ 撮影者：瀧田 雅之



・「護郷(もりさと)(旧・浅間神社)」方向へ向かう「宮の道」 撮影者：瀧田 雅之

⑤湾曲している道

1 / 3

「宮野橋」の左岸側から
「城の上橋」へ向かう
湾曲している道

⑤湾曲している道

2 / 3

- 現在は
周りの田畑を土盛りしたために
周辺地と**同じ高さ**になっている区間が多い
- かつては
低地の田畑(増林側の田と同じ高さ)の上に
築かれた**土手上の道**であった
- 昭和50年頃に
舗装工事されるまでは**砂利道**で
両側に日差しを防げるほどの樹木が茂り
並木道になっていた

⑤湾曲している道

3 / 3

疑問点

- 古くからある道であれば「新方川」の左岸の**土手上**に道ができるのでは？
- 周辺の一一般道路や農道と道の形が明らかに**違っている**



撮影者：秦野 秀明氏 撮影日：1980年代後半 北西より望む



撮影者：秦野 秀明氏 撮影日：1980年代後半 北西より望む



撮影者：秦野 秀明氏 撮影日：1980年代後半 南東より望む



湾曲部分を北西から望む
撮影者：瀧田 雅之 撮影日：令和6年10月24日



湾曲部分を北西から望む
撮影者：瀧田 雅之 撮影日：令和6年10月24日



湾曲部分を北西から望む
撮影者：瀧田 雅之 撮影日：令和6年10月24日



湾曲部分を南東から望む
撮影者：瀧田 雅之 撮影日：令和6年10月24日



湾曲部分を南東から望む
撮影者：瀧田 雅之 撮影日：令和6年10月24日



湾曲部分を南東から望む
撮影者：瀧田 雅之 撮影日：令和6年10月24日



「新方川」左岸から右岸(増林側)を望む
撮影者：瀧田 雅之 撮影日：令和6年10月24日